

# 工場ホ アル

成田工場は、久里浜工場からの移転によ

アルコニックグループで非破壊検査製品や印字・マーキングシステムの製造・販売を手掛けるマークテック(本社・東京都大田区大森西、社長・西本吉彦氏)は収益力の強化に向けた事業拡大策を推進している。20年までの3カ年計画では新商品開発などをテーマに掲げる。これらの製品を一貫製造する成田工場(千葉県)を訪ねた。(遊佐 鉄平)

## アルコニックグループ マークテックの成田工場

### 非破壊検査・印字装置のマザー拠点

て1999年に開設した製造拠点で、中国、韓国、タイの海外工場にとってはマザー工場としての役割を持つ。ここでは金属表面や摺動面などの微細な傷の有無を非破壊で検査するために用いる薬剤(探傷剤)や、鉄鋼材などの表面に材質・トで照射して傷を目視

て1999年に開設した製造拠点で、中国、韓国、タイの海外工場にとってはマザー工場としての役割を持つ。ここでは金属表面や摺動面などの微細な傷の有無を非破壊で検査するために用いる薬剤(探傷剤)や、鉄鋼材などの表面に材質・トで照射して傷を目視

#### 磁粉製造工場

寸法などを印字するために確認するための「蛍光磁粉」。これはB棟だ。タワー上部に磁粉一執行役員製造部長)・マーキング剤)とい

## 世界に向け新製品提供 蛍光磁粉、需要好調でフル操業

寸法などを印字するために確認するための「蛍光磁粉」。これはB棟だ。タワー上部に磁粉一執行役員製造部長)・マーキング剤)とい

#### アセンブリ工場

A棟は印字・マーキング装置の組み立て・最終調整を行う建屋だ。二つの設備を同時

寸法などを印字するために確認するための「蛍光磁粉」。これはB棟だ。タワー上部に磁粉一執行役員製造部長)・マーキング剤)とい

#### 浸透液・ペイント製造工場

E棟は浸透液やペイント、分散剤といった化学用品を作る工場だ。工場内には1200リットルの容量をもつタンクが六つ並ぶ。それぞれが



99年に開設した成田工場

のも多く、製品の統廃合も課題」(工藤俊一執行役員)に挙げている。鉄鋼業や自動車産業の環境改善による追い風が吹いているマークテックだが、さらなる成長と世界シェア拡大には「顧客ニーズに沿った新製品の開発が必要」(西本社長)とする。設計・製作に

